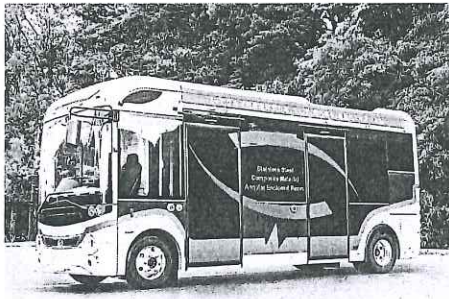


EVバス

万博の会場内外輸送に活用

EVモーターズ・ジャパン 7月から納車



大阪メトロは、大阪・関西万博に向けて温室効果ガス排出量削減とともに、脱炭素への取り組みを目指し、EVバスの導入を決めた。グループが掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の推進に基づいた取り組みの一環でもある。万博開催までに、大阪メ

トロは150台のEVバスを導入する計画を進めていく。万博閉幕後に、EVバスは大阪市内での路線バス・オンデマンドバスに活用する予定となっている。

入る計画を進めていく。万博閉幕後に、EVバスは大阪市内での路線バス・オンデマンドバスに活用する予定となっている。同社が納入する100台のうち、35台は小型コミュニティEVバスで乗車定員29人。残り65台は、大型路線EVバ

EVモーターズ・ジャパン（佐藤裕之社長、北九州市若松区）は、大阪市高速電気軌道（大阪メトロ、河井英明社長、大阪市西区）に、電気自動車（EV）バスを100台納車する。大阪メトロは、2025年開催の大阪・関西万博において、EVバスを会場内外の輸送に活用する予定。同社は、7月下旬から順次、EVバスを納車していく。

だ。（一部既報）